

国民スポーツ大会の開催について（案）

1 国民スポーツ大会の開催について

国民スポーツ大会(旧名称：国民体育大会)は、都道府県対抗、各都道府県持ち回りで毎年開催されている国内最大のスポーツの祭典です。「スポーツ基本法」に基づく重要行事の一つとして、日本スポーツ協会・文部科学省・開催地都道府県の三者共催で行われ、昭和63(1988)年の京都大会から二巡目に入っています。

平成29(2017)年3月、長野県が国民スポーツ大会の招致を決め、同年7月日本スポーツ協会から内々定を受け、令和10(2028)年の第82回国民スポーツ大会開催が事実上決定しました。

長野県における国民スポーツ大会の開催は、昭和53(1978)年の「やまびこ国体」以来50年ぶり※の開催となり、成功のためには関係機関・団体、県並びに市町村が一丸となって開催準備に取り組む必要があります。

国民スポーツ大会の開催にあたり、本市は県内でも有数の規模のスポーツ施設や宿泊施設を数多く有しており、これらの施設を有効に活用することで開催県の中心的な役割を果たし、スポーツ人口拡大・競技力向上などのスポーツ振興だけでなく、全国から本市を訪れる選手・役員・観客等による経済波及効果、市民による歓迎や観光PRによる全国への魅力発信などにより、本市が基本施策に掲げる“スポーツを軸としたまちづくり”を推進し、地域の活性化につなげていきたいと考えています。

※：冬季大会の開催を除く

2 競技及び施設選定の基本方針（平成30(2018)年7月2日 決定）

国民スポーツ大会の開催にあたっては各競技の開催基準を満たす施設が必要となりますが、本市では「競技及び施設選定の基本方針」を定めた上で競技等の選定を行い、競技団体等との調整を行ってきました。

- 1 本市における大規模な大会開催実績が豊富にあり、競技団体と市の連携が十分にとれること
- 2 競技が市民に広く親しまれており、国体開催のレガシーが残ることが期待できること
- 3 競技の開催要件を満たす施設があること。また、開催を機に利便性向上や長寿命化等の整備が見込め、本市のスポーツ振興に資する施設として残ること

現在までに5競技8種目の開催が内定しています(2、3ページ参照)。また、国民スポーツ大会の開催後には全国障害者スポーツ大会が行われる予定になっています。

3 国民スポーツ大会施設整備方針（令和2(2020)年7月1日 決定）

本市における実施競技が概ね内定したことから、国民スポーツ大会の競技会場となる施設の整備を検討するにあたり「競技及び施設選定の基本方針」で定めた「開催を機に利便性向上や長寿命化等の整備が見込め、本市のスポーツ振興に資する施設として残ること」に基づき、本市の財政状況を踏まえつつ以下のとおり施設整備方針を定め、施設整備計画を策定していくこととしました。

- ・国民スポーツ大会の開催に必要な施設整備であること
- ・本市のスポーツ施設が抱える課題を解消できる施設整備であること
- ・国民スポーツ大会終了後も市民に有効に活用される施設整備であること
- ・国民スポーツ大会の施設整備の対象となる補助、助成制度を最大限活用する施設整備であること

第 82 回国民スポーツ大会・第 27 回全国障害者スポーツ大会 長野市実施予定競技

■ 第 82 回国民スポーツ大会 実施内定競技

競技名／種目名		種 別	実施予定会場	備 考
水泳	競泳 飛込 水球 AS※1	全種別 〔 成年男女 少年男女 〕	長野運動公園総合市民プール(アクアウィング)	会期前大会 (9月)で実施
バスケットボール		全種別 〔 成年男女 少年男女 〕	真島総合スポーツアリーナ(ホワイトリング) 長野運動公園総合体育館 南長野運動公園体育館	10月実施
高等学校野球		硬 式	長野オリンピックスタジアム 長野運動公園県営野球場	10月実施
サッカー		成年女子※2	南長野運動公園総合球技場(長野Uスタジアム) ほか	10月実施
ボウリング		全種別 〔 成年男女 少年男女 〕	ヤングファラオ	10月実施 民間施設

※1 アーティスティックスイミング(旧シンクロナイズドスイミング)

※2 令和4(2022)年度以降の実施種別による

● 全国障害者スポーツ大会について

全国障害者スポーツ大会は、障害者が競技を通してスポーツの楽しさを体験するとともに、国民の障害に対する理解を深め、障害者の社会参加の推進に寄与することを目的としたスポーツの祭典です。大会は国民スポーツ大会の後、同じ開催県で3日間の会期で開催されます。

国民スポーツ大会の競技施設で行われるため、施設整備は原則不要ですが、国民スポーツ大会の施設整備にあたりユニバーサルデザインに配慮する必要があります。



全国障害者スポーツ大会
シンボルマーク

■ 第 27 回全国障害者スポーツ大会 実施内定競技

競技名・種目名		実施予定会場	参加人数※	会 期 等
水 泳	知的障害 身体障害	アクアウィング	約 310 人	・会期 3日間
バスケットボール(知的障害)		長野運動公園又は ホワイトリング	約 170 人	・会期 2日間 ・競技用2コート
車いすバスケットボール		長野運動公園又は ホワイトリング	約 85 人	・会期 2日間 ・競技用1コート、アップ用1コート
ボウリング(知的障害)		ヤングファラオ	約 170 人	・会期 2日間

長野県内の競技会場市町村内定状況（2021.10 現在）

- ・ 国スポ（本大会・冬季大会） 競技会場地市町村（第1次選定～第5次選定）34競技 / 27市町村
- ・ 全障スポ 競技会場地市町村（第1次選定～第3次選定）個人6競技・団体7競技 / 8市

